

Silex 製画像伝送 アクセスポイント 連携マニュアル

本書は、Silex 製画像伝送アクセスポイントを使用して、xSync Classroom の画面をワイヤレスディスプレイに表示させる手順の説明書です。

※画像伝送アクセスポイントを初めて使用する場合は、P4 設定編 を先に参照してください。

Silex 製画像伝送アクセスポイント連携マニュアル
PVCXC-M020-C
本書の内容は改良の為、予告無く変更する場合があります。

目次

接続編.....	2
画像伝送アクセスポイントの起動方法.....	2
ワイヤレスディスプレイの接続.....	2
ワイヤレスディスプレイの切断.....	3
設定編.....	4
ダウンロード.....	4
画像伝送アクセスポイントの設定.....	4
投影支援ソフトウェアのインストール.....	4

接続編

画像伝送アクセスポイントの起動方法

1. 電子黒板を接続している OA タップを教室の電源コンセントに接続します。
2. ディスプレイと画像伝送アクセスポイントの電源を入れ、パソコンを起動します。
3. ディスプレイの入力を「HDMI」にし、画像伝送アクセスポイントの待受画面を表示します。



補足

- 待受画面表示前は、「Starting…」のメッセージとプログレスバーが表示されます。準備が完了すると、「Ready to connect」と表示されます。

ワイヤレスディスプレイの接続

1. xSync Classroom のホーム画面左下にある「提示機に接続」をタップします。



接続可能な機器が一覧表示されます。

- 受信機を選択して、[接続] をタップします。



ワイヤレスディスプレイ側に以下画面が表示されます。



ワイヤレスディスプレイの切断

- xSync Classroom のホーム画面左下にある [提示機に接続] を選択します。



接続している機器が表示されます。

- 接続している機器を選択して、[切断] をタップします。



設定編

ダウンロード

付属のマニュアル記載の URL から、以下の必要なツールをダウンロードしてください。

- NetDA Setup (アクセスポイントの設定に必要)
- SX Virtual Link Display for Education 先生用 (接続・投影に必要)

画像伝送アクセスポイントの設定

1. 画像伝送アクセスポイントを開梱して、AC アダプターと接続します。

画像伝送アクセスポイントの電源が入ります。

2. ディスプレイの HDMI 端子に、画像伝送アクセスポイントを接続します。

3. LAN ケーブルを使用し、ハブ経由でパソコンと接続します。

注意 無線 LAN 接続で運用する場合も、初回設定時には有線での LAN 接続が必要です。

4. NetDASetup を実行し、ネットワークの設定を行います。

補足 ネットワーク環境に DHCP サーバーが設置されているかどうかで、操作方法が異なります。環境にあわせて、以下のいずれかを行います。

- DHCP サーバーを使用して自動で IP アドレスを割り当てる
- 本製品の DHCP サーバーを使用する
- IP アドレスを手動で割り当てる

不明な点があれば、ネットワーク管理者にご相談ください。

無線 LAN 経由で接続する場合は、製品詳細マニュアルを参照してください。

投影支援ソフトウェアのインストール

1. 投影支援ソフトウェア (SX Virtual Link Display) をインストールします。

SX Virtual Link Display が起動し、設定済みの画像伝送アクセスポイントの一覧が表示されます。



補足

- 無線 LAN 経由で運用される場合は、パソコンの無線 LAN 設定も行った上で、設定済の画像伝送アクセスポイントの一覧をご確認ください。

2. SX Virtual Link Display から接続・投影を確認する

一覧から投影先をダブルタップして接続し、投影を開始します。

- メインデスクトップの画面解像度が、接続前と変更されていないことを確認します
※変更していたら、Windows のディスプレイ設定から接続前と同じ設定に戻します。
- 画像伝送アクセスポイントに投影されているデスクトップ画面が、「拡張」デスクトップ画面であることを確認します。
※「複製」の場合は Windows のディスプレイ設定から拡張表示に変更してください。

確認出来たら切断し、SX Virtual Link Display を終了します。